



※イメージは変更になることがあります

整備計画の基本方針

1. 立地地域に相応しくアカデミックな風合いを兼ね備えた施設

- 高等教育機関として相応しいアカデミックな風合いを備え、創造的知性と豊かな人間性を育む施設
- 最上地域の気象条件（多雪）を考慮した構造形式を基本とし、多雪期の積雪・落雪に対する除雪作業の省力化等に配慮した計画
- 県産木材を交流棟の内装に活用（やまがた森林ノミクス）
- 大学開学までに竣工することが見通せる工法計画

2. 地域のシンボルとなる施設

- 周辺地域の環境と調和し、地域に開かれ、学生や職員はもとより、地域住民にも親しまれる地域のシンボリックな施設

3. 機能的な施設配置に配慮した施設

- 専門職大学と農林大学校を併せて整備することから、それぞれの専用施設と共用施設を機能的に配置
- 専門職大学基本構想を踏まえ、特色ある教育課程を実現するための学習環境を整備
- 引き続き活用する施設（体育館、農産加工施設、農林大学校学生寮、緑風館（研修施設））との動線を考慮した計画

4. 環境に配慮した施設

- 地球環境に配慮し、環境への負荷を低減（施設の省エネルギー化、再生可能エネルギー（木質バイオマス利用等）の導入等）

5. 経済性・耐久性に配慮した施設

- 主要な建築部材や建築設備等について、耐久性の向上や経済性（イニシャルコスト・ランニングコストの縮減）に配慮した施設

■事務部門

- ・学長室、学部長・学科長室、事務局長室
事務室、秘書室、応接会議室、会議室1～3
- ・農林大学校職員室、校長室、職員更衣室
- ・警備員室、印刷室、書庫・倉庫

■大学教員研究室・実験室

- ・教員研究室（30室）、ゼミ室（6室）
- ※教員研究室（5室）+ゼミ室（1室）
を1ユニットとし6編成を予定

■講義室・演習室

- ・大講義室（300席）
- ※地域住民（県民）も利用可能

- ・専門職大学用
：講義室3～6
：演習室7～12
- ・農林大学校用
：講義室1・2
：演習室1～6
- ・ICT・GIS教室

■実験室

- ・実験室1（品質評価）、実験室2（化学分析）

■医務室等

- ・医務室、カウンセリング室

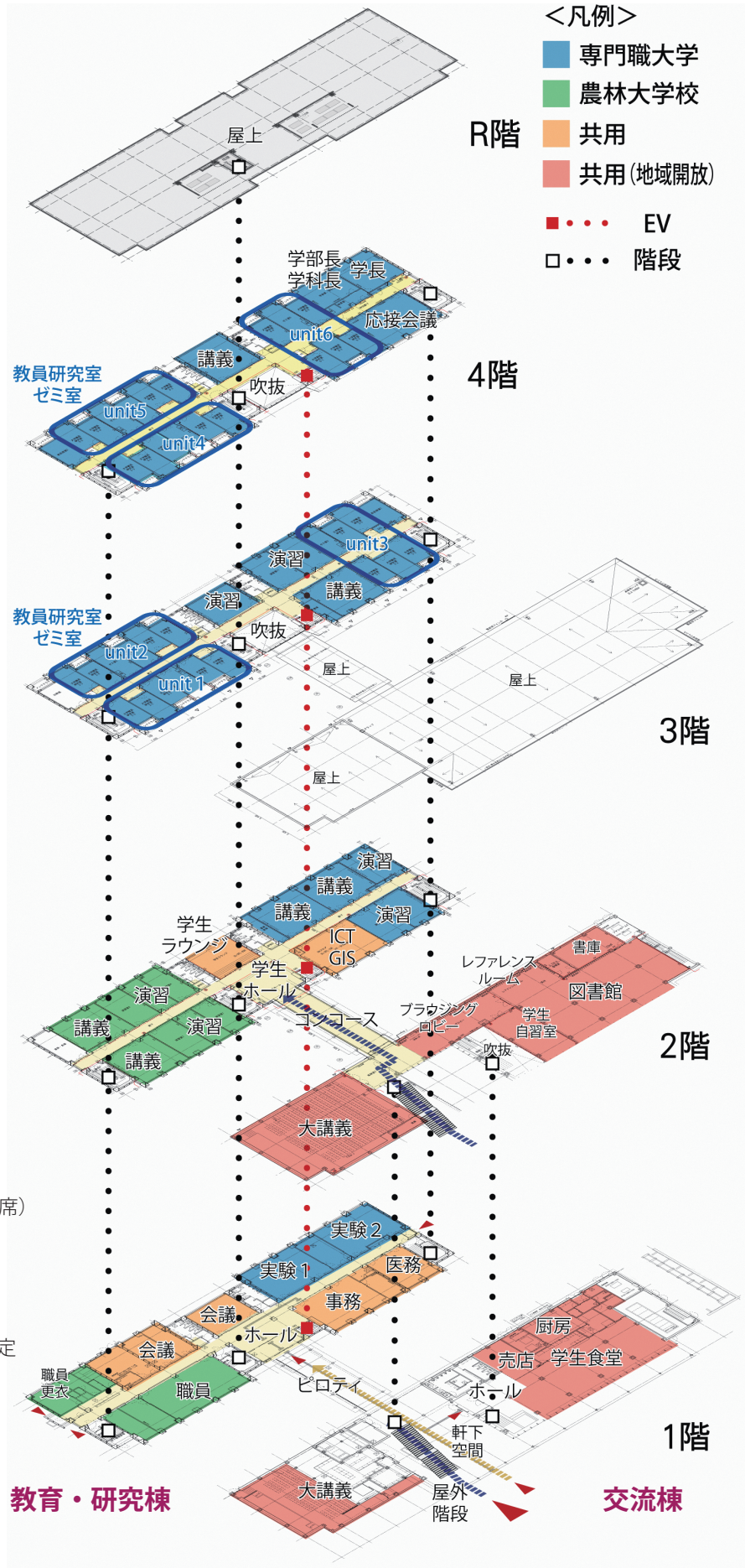
■大学附属図書館

- ・地域住民（県民）も利用可能な閲覧席（31席）
- ・学生自習室（40席）
- ・レファレンスコーナー、ブラウジングロビー
書庫・整理室
- ※蔵書数：開架約4万冊、閉架約1万冊を想定
地域住民（県民）も利用可能

■福利厚生施設

- ・学生食堂（170席）、厨房
- ・売店、学生ラウンジ
- ・専門職大学生用更衣室

※学生食堂は地域住民（県民）も利用可能

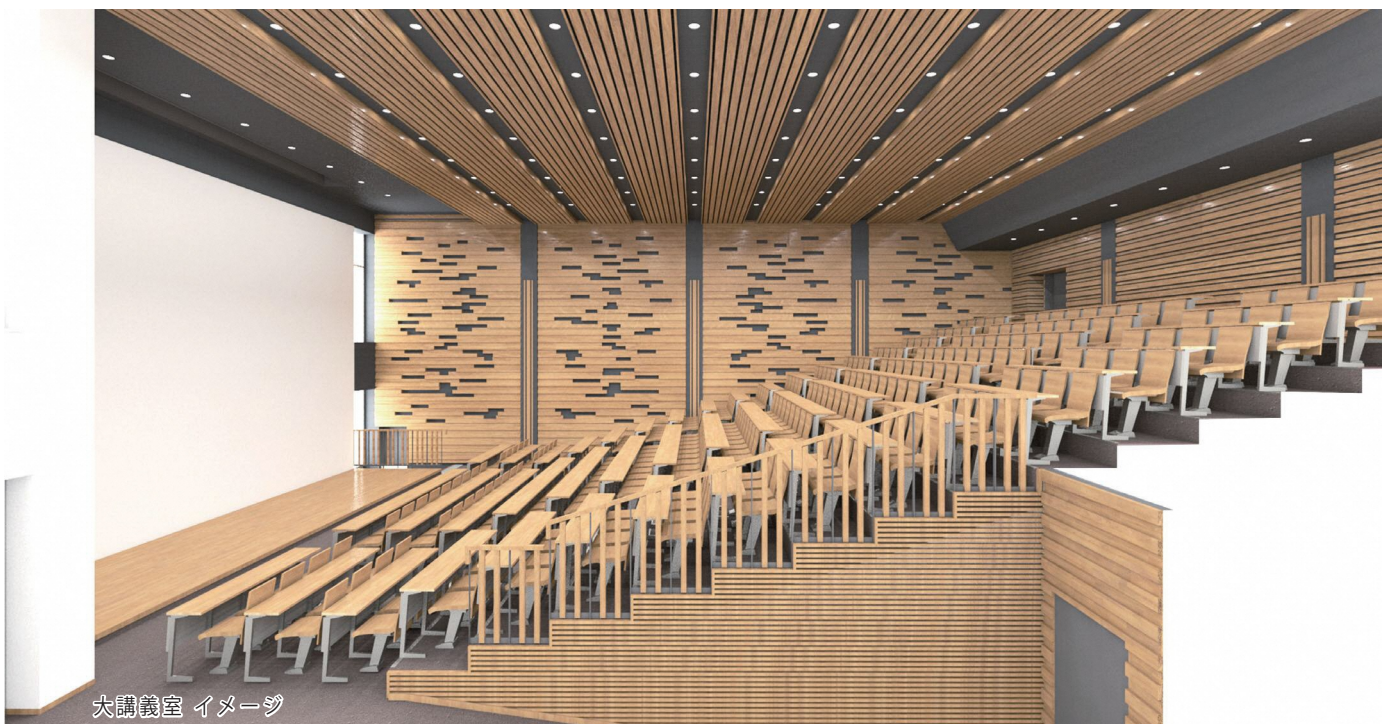


<凡例>

- 専門職大学
- 農林大学校
- 共用
- 共用(地域開放)
- EV
- 階段

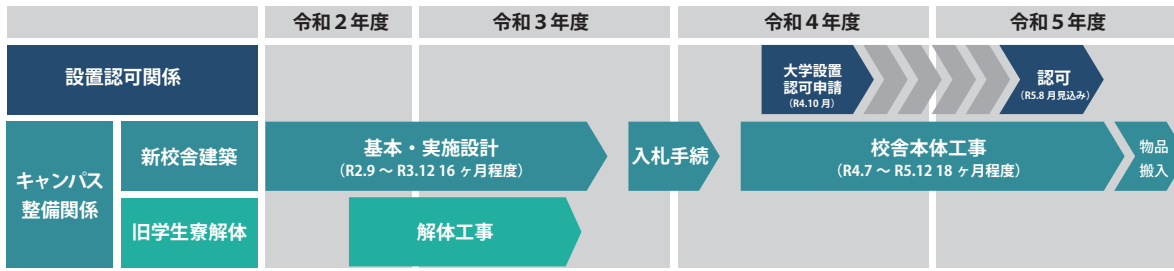
※今後の精査により内容が変更になることがあります

敷地概要



※イメージは変更になることがあります

整備スケジュール（概略）

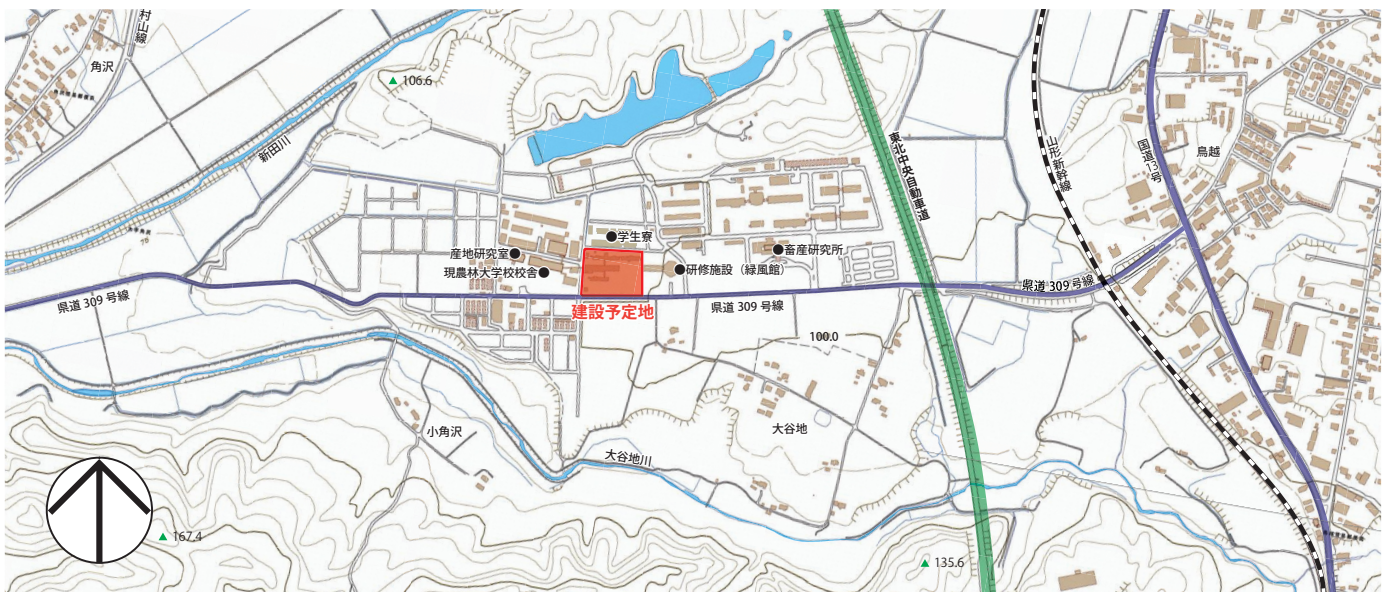


令和6年4月
開学

建物概要

主要用途	大学・専修学校		
定員数	東北農林専門職大学（仮称）	定員：160人	
	東北農林専門職大学附属農林大学校	定員：80人	
		合計：240人	
構造・規模	交流棟（低層棟）	鉄骨造地上2階	
		最高高さ：11.740m	
	建築面積：1,633.01 m ²		
	延床面積：2,213.86 m ²		
	教育・研究棟（高層棟）	鉄筋コンクリート造地上4階+塔屋	
最高高さ：18.885m			
		建築面積：1,256.19 m ²	
		延床面積：4,946.50 m ²	
	合計	建築面積：2,889.20 m ²	
		延床面積：7,160.36 m ²	

敷地周辺概要



建築場所	山形県新庄市大字角沢地内
敷地面積	11,393.65 m ²
地域指定	都市計画区域外
建ぺい・容積率	制限なし